

凸版印刷の従業員諸君に訴ふ!!

諸君は我々の生命を握つて居る
切に諸君の應援をまつ

吾々日清従業員七百名は資本家の横暴に結束して立つた。之に對して印刷同業組合
會長杉山某は自分の會社に事件の波及を恐れ、凸版の『源之丞』を誘ひ、更に他の同
業會社に強要して、所謂『十一社協定賃金率』を發表した。

永き資本家の横暴に對して、抗爭する時が來た!

十一社協定とは何ぞ! 公平の美名にかくれ、單に賃金整理を會社の都合好いやう
に行ふに外ならぬではないか。實際は一錢の値上にもならず、巧妙に組合をぶつつぶ
さうとする、資本家のからくりであつた。

ごまかされるな!!

吾々日清従業員を見よ、女も子供も戰陣に加つて鐵の如き結束と規律とを持つて戦
つてゐるのだ。我々の勝敗は、直ちに諸君の上にもかゝるのだ。日清の爭議が労働者
の勝利になれば、凸版の兄弟諸君も勝利だ!!

兄弟諸君!!

その勝敗の鍵は諸君の應援の力如何にかゝつてゐる。諸君のケースの前から、スキ
ツチのかたはらから、即ち諸君の工場から結束して應援することだ。

(日清の得意『主婦の友、日本少年、東洋經濟』は各所の印刷工場に於てその従業員
の反對に依つて拒絶せられ、やがて諸君の工場に持ち込まれる) 兄弟諸君は過去に於
て、おとなしいと資本家からおだてられてゐた。然し目を開いて博文、日本書籍、精美
堂、三省堂、其他多くの工場を見よ!

今や全東京の印刷労働組合員は應援の爲に決然として立つた。

應援せよ、兄弟諸君!!

七百の日清の従業員を見殺しにするな!!

全労働者の利益の爲に敢然として立て!!

資本家の團結を我等の團結の力で粉碎せよ!!

大正十四年十二月二日

日清印刷株式會社
争議團

應援 日本労働組合
評議會 出版労働組合

Handwritten notes and signatures in the left margin, including names like '本印', '久', '山', '一', '二', '三', '四', '五', '六', '七', '八', '九', '十', '十一', '十二', '十三', '十四', '十五', '十六', '十七', '十八', '十九', '二十'.